

快適性(1) ~ ETC利用率 ~

ETC普及を促進し、サービスの向上を目指します。

平成17年度のETC利用率は、ETCレーンの増設などETC利便性の更なる向上及び各種料金施策により、前年度33%のETC利用率を53%にまで向上しました。

(1) 取り組みと成果

ETC利便性の更なる向上

- ・ ETCレーン増設24レーン、未挿入お知らせアンテナ設置19料金所
- ・ 二輪車ETCの特定モニター試行実施(H18.2.13~)

料金施策・車載器購入支援

- ・ 車載器購入支援(マイルージ600ポイントプレゼントキャンペーンの実施(H18.1~H18.3))
- ・ マイルージポイント2倍キャンペーンの実施(H17.4~H18.3)
- ・ マイルージポイント3倍キャンペーンの実施(H17.12 毎日、H18.1~H18.3 土日祝日)
- ・ ワンストップキャンペーンの実施(延べ45日間689台)
- ・ 大口多頻度・マイルージ割引の実施(H17.4~)
- ・ ETC時間帯割引の実施(H16.11~H17.1~)

広報関係

- ・ 各種広報活動等により、ETCの利用が拡大するとともに、料金所における渋滞が緩和しました。

(2) 平成18年度の取り組み(目標値:68%)

ETC利便性の更なる向上

- ・ ETCレーン増設8レーン以上、未挿入お知らせアンテナ設置25料金所
- ・ 二輪車ETCの一般モニター試行実施(H18.7~)
- ・ 二輪車ETCの本格的運用の開始

料金施策・車載器購入支援

- ・ 車載器購入支援(マイルージ600ポイントプレゼントキャンペーンの継続(H18.4~H18.9))
- ・ 一般有料道路への時間帯割引の導入(湯浅御坊、広島岩国、高松東道路など)
- ・ 利用頻度が低いお客様に対する利用推進の施策展開(女性向けWebの展開など)

快適性(2) ～路上工事による車線規制時間～

路上工事による車線規制を減らし、交通の円滑化及び渋滞減少を目指します。

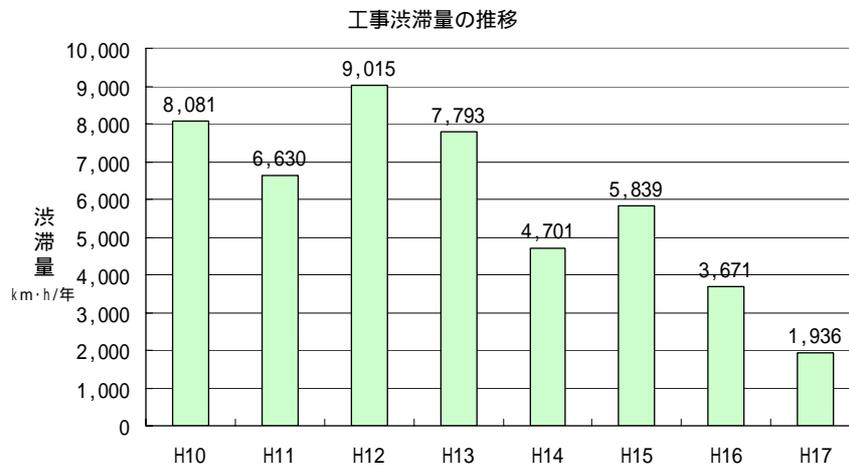
工事の重点化・集約化により工事規制箇所の集約を積極的に実施した結果、車線規制時間は、昨年度とほぼ同様の81時間/Km・年となりました。

(1) 取り組みと成果

複数の工事工程を調整し、集約化して工事規制時間の削減を図りました。

繁忙期、年末・年始などの工事抑制の推進や交通量が少ない時期・時間を厳選した結果、工事規制に伴う渋滞量が昨年度に比較し削減されました。

比較的交通量の多い区間については、工事の時間帯を厳選したり夜間工事により対応しています。



(2) 平成18年度の取り組み(目標値:75時間/(km・年))

集中工事等の実施により工事の一層の集約化を図り、路上工事時間・工事規制回数を削減するとともに、交通状況や工事渋滞状況を常に分析し迅速に対策を講ずることで、工事渋滞量の減少を図ります。